

一 般 質 問 日 程

1 2 月 1 0 日 (火) Am 9 : 0 0 ~

1. 唐澤 克己 議員
2. 武田 篤子 議員
3. 唐澤 健 議員
4. 前沢 光昭 議員
5. 堀本 丈文 議員
6. 平澤 恒雄 議員

1 2 月 1 2 日 (木) Am 9 : 0 0 ~

7. 酒井 浩文 議員
8. 壬生眞由美 議員
9. 武田 徹 議員
- 1 0. 井原 康明 議員

令和6年豊丘村議会12月定例会 一般質問通告一覧

【1日目】令和6年12月10日(火)

【2日目】令和6年12月12日(木)

1日目 (10日)		
通告 ・ 順位	質 問 者	質 問 事 項
1	唐澤 克己	1. 指定避難所上下水道施設の管路更新や強靱化・耐震化の先行実施について 2. 感染症法上の5類移行後の新型コロナ対策について
2	武田 篤子	1. 災害時の水の確保について 2. 吃音について
3	唐澤 健	1. サポカー補助金制度の創設について 2. 高齢者等のゴミ出し支援について
4	前沢 光昭	1. 介護保険受領委任払い導入について 2. 不登校の子どもへの対応について
5	堀本 丈文	1. 河野新田における集落事業の推進について 2. 「ベジフルキッチン」の現状について 3. 村のキャッチフレーズについて
6	平澤 恒雄	1. 投票所での支援について 2. GIGAスクール端末の更改について 3. 鳥獣害対策について

令和6年11月20日

豊丘村議会議員 片桐忠彦 様

豊丘村議会議員

唐澤克己



一般質問通告書

次の通り通告します。

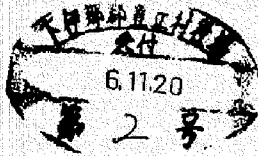
質問事項	質問の要旨	質問相手
1 指定避難所上下水道施設の管路更新や強靱化・耐震化の先行実施について	私たちは飲料水の確保なくしては生きていけません。水道施設はまさしく最重要のインフラといえます。村では、耐用年数を超えた管路等水道施設の更新を、既に計画に基づいて地域単位で順番に進めております。また、下水道施設の更新についても、追って順次着手されることと思います。そうした上下水道施設の改修につきましては、災害の多発化激甚化の折、村では、施設の強靱化や耐震化も当然視野に入れて実施されていることと思います。いずれにしても、上下水道施設の更新には、膨大な資金と歳月を要し、順番を設けて徐々に行うより他はないのが実情です。しかし、そうした事情は考慮しても、特に、昨今災害による上下水道施設の壊れまいばかりの被害状況を目にしますと、せめて指定避難所の上下水道施設の管路更新や耐震化強靱化だけは順番を変更しても早急に完了しておかないと、一朝有事の際にどうしようもない状態になるとの思いに駆られます。そこで、そうした観点に立ち、質問いたします。 (1) 村内の水道施設で、既に管路等の更新が完了している地域はどこか。設備の耐震化強靱化も併せて行っているのかどうか。 (2) 水道施設の更新工事で今後の計画はどのようになっているか。 (3) 下水道の更新計画についてはどうなっているか。 (4) 災害時の指定避難所で、上下水道施設の更新や耐震化強靱化が完了しているところと、完了していないところはどこか。また、更新が未実施の場合に、先行して優先的に完了させることは可能かどうか。	建設環境課長 建設環境課長 建設環境課長 建設環境課長
2 感染症法上の5類移行後の新型コロナ対策について	新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行してから1年余が経過しています。日常生活は、表面的には平時に戻った感がありますが、新型コロナは相変わらず流行の波を繰り返し、死者もかなり出ているのが現実です。また、コロナから回復しても後遺症に悩まされている方々も多いと聞きます。今でも、予約なしに、熱がある、咳が出る、のどが痛い等で医療機関へ行くと、すぐに発熱外来駐車場へ案内され、そこで待機してコロナウイルス感染の有無を検査されます。コロナは感染力が強いだけに予防を個人の注意だけに頼るのは限界があります。厚生労働省の調査によると、昨年の5月～11月に合計1万6043人が新型コロナで死亡したとのことです。そこで、こうした状況が1日も早く改善されることを願い、質問いたします。 (1) 新型コロナの感染状況が悪化した場合に、国または県等から村に対し、注意を喚起するような指示に類する連絡などがあるのかどうか。 (2) 村内の感染状況が心配されるような場合に、村として、村民に対し、例えば、うがいの励行や集会でのマスク着用など、適宜アドバイスなどをすることは考えておられるかどうか。	健康福祉課長 健康福祉課長

令和 6 年 11 月 20 日

豊丘村議会議長 片桐忠彦 様

豊丘村議会議員

武田 篤子



一般質問通告書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1 災害時の水の確保について (7) 提言	(1) 地震による水道復旧は、地域や災害の規模、被害の程度によって異なりますが、平均して数日から 3 週間程度かかると言われています。 現在、村では水道管の入れ替え工事が 25 年の工期のなかで行われています。入れ替えが行われた水道管は耐震性にすぐれたものであると聞いています。どのくらいの震度に対して耐えきれものになっているのか。また、現在の水道管の更新の進捗率は、村全体で見たときにどのくらいになっているのかについて伺う。	建設環境課長
	(2) 2023 年 2 月に、喬木村との水道水供給助け合い協定が行われ、豊丘村が非常時の場合には、喬木村から水道水の供給がされるようになっています。その詳細について伺う。	建設環境課長
	(3) 他に水道水について、他町村との提携があるのかどうかについて伺う。	建設環境課長
	(4) 災害時の水の確保ということでは、給水車による水の運搬が考えられます。今年度予算で購入が計画されているステンレス製緊急給水タンクについての詳細を伺う。1 回にどのくらいの世帯の水を運搬できるのか、また、給水車に水を貯めるのに必要となる時間はどのくらいなのか伺う。	建設環境課長
	(5) 災害時の水の確保について、水道担当として、その他なにか対策を考えているのかどうかについて伺う。	建設環境課長
	(6) 能登半島地震のときには、水道が復旧しない中、井戸水が生活用水として活用された。ということを知りました。そこで、豊丘村について、防災計画の中	総務課長

	での井戸水の位置づけはどのようになっているのかについて伺う。 (7) 10月5日の南信州新聞の中に「阿南町では、災害時の生活用水を確保、協力井戸の登録制度へ準備」という記事を見ました。 全国各地で頻発する大規模な自然災害に備えようと、「災害時協力井戸」の登録制度の創設に向けて準備を進めているそうです。協力井戸としての登録を呼びかけ随時リストに登録していくそうです。 井戸の存在を地域の方が理解し、災害時に無償で、地域の方の井戸水を提供してもらえるように、豊丘村としても、災害時協力井戸の登録について検討を試みてはどうか。 (8) このことについての考えを伺う。	総務課長
2 吃音について (3) 提言	(1) 先日の信濃毎日新聞のなかに、「吃音、言語聴覚士から学ぼう、東御で一般向け学習会」という記事を見ました。 今年の夏、村内の公園に行った折に、友達と会話している男の子に、吃音の症状のある子がいました。 そこで、学校や保育園の子どもたちの現状について伺う。 (2) 子どもの話し方が気になっている。というような保護者がいた場合、学校や保育園としてはどのように対応しているのか。また、教員、保育士向けの吃音についての研修会などは行われているのかどうかについて伺う。 (3) 一般論としては、「いずれ治る」「様子を見ていいのでは」ということになっているように思います。でも言語聴覚士の方は「今は深刻に見えない。いずれ治るのでは」と様子を見ることは当事者の将来にとって不適切」といっておられます。 なかなか、こういった講演会がないために、理解されていない部分が多々あるように思います。 そこで、吃音について理解してもらえるように、保護者や一般向けの研修を行ってみてはどうか。 (4) このことについての考えを伺う。	教育長 こども課長 教育長 こども課長 教育長

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. サポカー補助金制度の創設について	(1) サポカー補助金とは、経済産業省・国土交通省が提供した補助金で、2021年11月に受付けが終了しました。令和3年度中に65歳以上になる高齢ドライバーを対象にした補助制度です。 衝突被害軽減ブレーキなどの安全技術が搭載されている車を購入するときの購入補助と後付のアクセルペダル踏み間違い急発進抑制装置の導入補助の2種類がありました。 この制度の利用者が有ったのか、判れば教えていただきたい。 (2) 国のサポカー補助金は終了していますが、各自治体では補助金を出しているところもあります。 例えば、岡山県勝央町(しょうおうちょう)では令和6年4月から、「安全運転支援装置補助金」を始めました。65歳以上の方対象に、国土交通省の「先進安全技術の認定制度」に基づき認定されたものが補助対象になります。安全運転支援装置とは、①後付のアクセル踏み間違い時加速抑制装置、②アクセルペダルが強く踏み込まれた際にアクセルの開度を電氣的に抑制する後付装置です。補助金は最大5万円です。 全国で高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違いによる交通事故が多く報道されています。この事故による死亡事故も報道されています。 事故防止のために村でこの補助金を創設していただきたい。	産業振興課長
2. 高齢者等のゴミ出し支援について	(1) 11月12日に厚労省の国立社会保障・人口問題研究所が都道府県別の世帯数の将来推計を公表したと、13日に一斉報道しました。2050年県内独居世帯37.3%、65歳以上では20.4%。孤立対策課題に。	健康福祉課長

[illegible]

令和 6 年 11 月 20 日

豊丘村議会議長 片桐忠彦 様



豊丘村議会議員 前沢光昭

一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します。

No. /

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 介護保険受領委任払い導入について	(1) 介護保険には住宅改修や福祉用具の購入した際に保険給付の制度がある、しかし基本は「償還払い」となっており一時的に立て替えなければならない。問題は一時的とはいえ経済的負担が大きく、利用をためらう被保険者もいる。そのため立替不要の「受領委任払い」の制度があり、県内には小諸市、塩尻市などいくつかの自治体で導入している、飯田下伊那ではためらっている自治体がほとんど、この制度を知らない人もいる。	
	① 豊丘村ではこの制度を導入しない理由はなぜか。自治体独自に導入は可能、豊丘村でも導入すべきと思うがどうか。全国の住宅改修による受領委任払いの利用率は 64.2%と聞いている（中部管区行政レポート調査）	健康福祉課長
	② 第 9 期介護保険策定計画検討会の中でも「導入すべきでないか」との意見も出たが、検討くらいされたのか伺う。	健康福祉課長
	③ 利用者にとっては立て替えが不要になることによって軽減される、住宅改修の場合、費用の回収遅れなどによる未回収のリスクも無くなる。村長の考えは。	村長

2, 不登校の子どもへの対応について	(1) 11月4日付信濃毎日新聞の社説で「不登校また最多」との記事が載りました。内容は文部科学省の調査で34万6482人もの小中学生が不登校になっている、11年連続で最多を更新したというもの。子ども全体の3.7%である。1クラスに1～2人はいる割合になる。不登校の急増は、学校が子どもにとって息苦しい場所になっていることを示しているのではないか。不登校は社会や教育のあり方を背景にしたもので、本人や家庭の責任ではありません。子どもを人間として大切にする学校づくりが大切である。 ① 豊丘村小中学校における不登校の現状について、原因がわからない理由もあると思うが、学校生活に不安を子もいるはずと思うがどのように対処されているのか。現状の人数と、加配などの教員配置について現在の対応はどうか。 ② カウンセラーなどの専門的な対応はされているか。 ③ 長野県はフリースクールへ対応した独自の認証制度も始めたが、現在のIT教育も含めた学びの機会に対して失う事のないことが必要だ、教育の機会として対応はできているか。 (2) 学校・保育園の検診について 学校保健法に基づき小中学校では学校医により、内科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科の学校健診が行われている。子どもたちの健康増進と疾病の早期発見に重要な役割を果たしてきた。 しかし同時に学校一斉の検診時に受診できない	教育長 教育委員会 事務局長 教育長
---------------------------	--	---

子ども達がいるのも事実。様々な理由があり保護者による受診だけではカバーしきれない事もあるのではないかな。

今年春頃の NHK の特集で報道されましたが、たまたま不登校の時期の子どもが検診を受けられなかった。その子は脊柱側弯症（せきちゅうそくわんしょう）を患っており重要な子どもの時期に発見することが出来なかった。大人になってから重症の状態になってしまったというもの。

この病気のチェックは以前から検診項目に含まれており、受診時に先生に背中を見せるあれがそうだそうです。実は重要なチェックだったわけです。

① 村内の開業医が少ない中で、それぞれの検診への配置はどのようになっているのか。

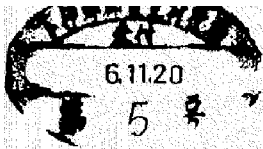
② 今まで検診の中で重大な症状が発見されたことはあるか、答えられる範囲で答弁を。

検診の日に受診できなかった子どもは実際にいたか、保護者で4科の受診を対応しきれたのか。未受診の子はいなかったか。

教育委員会

事務局長

教育長



令和6年11月20日

豊丘村議会議長 片桐 忠彦 様

豊丘村議会議員 堀本 丈文



一般質問通告書

次の通り通告します。

1/2

質問事項	質問の要旨	質問相手
1.河野新田における集落事業の推進について	平成終盤の時代に、10年先の農業の夢を描いた「人・農地プラン」の作成が国より求められ、それぞれに担い手不足を認識した上で『こうなったら良いな』という夢の計画を作成しました。 令和の時代となり国からは、その夢の計画の実質化が求められるようになりました。 豊丘村の農業の現状ですが、令和2年2月調査の農林業センサスでは、ご存じのとおり村内の農地も農業従事者も予想以上に減少が進み、とうとう時代を担ってきた先輩達に限界が近づいたと感じたところでした。 そして、令和7年2月調査の農林業センサスが開始されます。更に進んだ結果が出ることと予想されます。 その中で現在村が取り組んでいる、河野新田地区での「集落営農」による組織での農地活用は、豊丘村が行うべきスタイルと感じており、是非とも成功させて、村全体が取り組む「夢の農業の最終形」ではないかと思います。 (1)そこで「集落営農」についてお聞きします。 「集落営農」とは、地域内における農地所有者の同意の下で集落営農組合に参画し、集約した農地をまとめて経営体組織に任せて、大規模な農業経営に取り組んでいただき、生産の向上により利益の増加を図って貰う。 経営体は、自らの作業員による作業従事だけでなく、組合員からの有償の作業従事(水管理・草刈・機械借用等)を募り、協力を得る中で農地の維持と健全経営を目指して貰う。 という、全体像の解釈で良いか。 (2)併せて、河野新田地区における、村の計画をお聞きしたい。	産業建設課長 産業振興課長

	全国にて多くの事例がございます。 (3)村が目標とする地域があれば教えてください。また、現在参考にされている地域の指導者や相談員がいますか。 以前、認定農業者の会において、先進地事例として飯島町の田切地区の事例を視察したことがあります。「集落営農」の取り組みについて参考になったことを覚えています。 (4)河野新田地区が集落営農組合として成立し、請け負っている経営体が良好であれば、他地域からの希望が殺到すると思いますが、その対応は考えていますか。 小さな単位での「集落営農」は成立しないので、地区毎の創設は無理と考えますが。 冒頭で申したとおり、成功させなければいけない事業です (5)集落営農組合、経営隊組織の創設はもとより、組織運営や営農活動に至るまで、数年の支援は必要と考えます。 村からの支援についてのお考えをお聞きます。	産業振興課長
2.「ベジフルキッチン」の現状について	観光協会より村に報告されている情報で、公開可能な範囲で構いません (1)新体制となった「ベジフルキッチン」ですが、現在の状況について教えてください。 (2)野菜について、生産者と契約している聞いていますが、欲しい野菜や持ち込まれる野菜等、生産者とのやりとりはどのようにしているのか。道の駅の直売所と関係は。 (3)契約者の増加を望んでいるのか。ビニールハウス設置等の補助制度の紹介はしているのか。 (4)ボリュームも求められていると思うが、肉等の対応は考えているのか。	産業振興課長 産業振興課長 産業振興課長 産業振興課長
3.村のキャッチフレーズについて	全国の仲間が集結して、東京で行われた周年記念式典が10月に終了し、そこでの交流の中で「10年後はリニアで来られますね」といわれました。延びたとしても、目の前に来ています。 (1)名刺に載せたり、村の入口に掲げたり、庁舎玄関に貼ったりできる、キャッチーなものが必要と思いませんか。	村長



豊丘村議会議員 片桐 忠彦 様

令和 6 年 11 月 21 日

豊丘村議会議員

平澤 恒雄

一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します。

No.1/2

質問事項	質問の要旨	質問相手
1、投票所での支援について	(1) 先の衆議院選挙の開票結果が役場玄関ホールに公表されました。これによると、有権者 5,334 人の内 3,424 人 (64.19%) が投票したとのことです。 ①村では投票所にコミュニケーションボードを用意している。これには入場券が無い、候補者が分からない、字が書けない、書き間違えたなど 8 項目の手伝ってもらいたい図柄が書いてあり、投票直前に指さして選んでもらっている。どのような対応事例があるか伺う。 総務省ではコミュニケーションボードとともに、本日資料としてお配りした投票支援カードを紹介しています。このカードはご覧のとおり、投票用紙に代筆することや声を掛けてゆっくりと誘導すること、手をつないで案内すること、候補者名を読むこと、コミュニケーションボードを使うことなど、して欲しいことを記入します。 投票所で突然見せられ選択を迫られるコミュニケーションボードとは違い、投票支援カードは自宅でゆっくり記入して投票所に持って行き、入場券とともに提出すれば対応してもらえるため、支援が必要な方も安心して投票に出かけられるものと思います。 ②この投票支援カードをどのように評価するか伺う。 ③投票支援カードを採用することを提案するが、村長の見解を伺う。	選挙管理委員長 選挙管理委員長 村長
2、GIGA スクール端末の更改について	(1) GIGA スクール構想で児童生徒一人一台の ICT (情報通信技術) 端末を配備しています。2020 年から急速に普及し今年 8 月には全国で 950 万台が使われており、多くが 2025 年度に更新時期を迎えます。文科省では更新端末の整備・更新計画の考え方及び更新端末のリユース、リサイクル、データ消去等、処分計画の策定・公表を義務付けています。	

質問事項	質問の要旨	質問相手
3、鳥獣害対策について	①現有端末数及び来年度以降の端末更改数について伺う。	教育委員会事務局長
	環境省の通知では、使用済み端末のレアメタルなど有用な金属の再資源化と個人情報漏洩防止の観点から、小型家電リサイクル法に基づき国の認定を受けた事業者と連携することが求められています。	
	②当村を含む収集区域における小型家電リサイクル法の認定業者数と、廃棄物行政の所管課である建設環境課との連携について伺う。	教育長
	③GIGA スクール端末の処分に当たっては適法な認定事業者への委託及びデータ消去など、 必要を 予算措置が必要となる。村長の見解を伺う。	村長
	(1) JA 小園農家組合の会合で、役場商工林務係による鳥獣害学習会をしていただきました。その折りに令和5年度のイノシシ捕獲数について、前年度26頭の3倍近くの63頭と伺いました。しかし今年、伴野原の畑ではジャガイモが掘られ、私の水田では土手を崩され中にも入られた。被害が増えていると感じます。	
	①被害があったら役場商工林務係へ連絡をと紹介された。今までに相談を受けた件数や内容について伺う。	産業振興課長
	②害獣の侵入を防ぐ防護柵について、適切な柵の選定、正しい方法での設置、こまめな維持管理が重要と資料に書かれている。現地の地形に合った柵の設置など、役場で指導してもらえるのか伺う。	産業振興課長
	③イノシシやシカの習性をよく知ることが被害を減らす近道なので、集落で勉強会を開きましようと呼び出されている。被害の情報があつた地区に対して、村主導で行ってもらうことが良いと思うが、村長の見解を伺う。	村長